

ジェイアールバス東北本部

第21号

2023年3月14日

〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡1-4-3 JR東労組仙台地方本部内

NTT:022-297-0155 JR:031-3981~3983

発責：佐藤 秀一 編集：情宣部

申4号「2023年度夏季ダイヤに関する申し入れ」団体交渉を行う！

JR東労組バス東北本部は、3月14日に「2023年度夏季ダイヤに関する申し入れ」について団体交渉を行いました。主な交渉経過は以下の通りです。

1. 2022年10月1日から2023年1月31日の間において乗務員勤務制度、協約・協定、労働基準法上の問題点と、その問題が発生した原因を明らかにすること。また、乗務員勤務制度、協約・協定、労働基準法を遵守すること。

(組合) 会社として対策をとりながらも時間外労働45時間超えが発生したことや、協約を取り交わしている39時間30分の確保など、会社として問題意識を持っているのか。

(会社) 時間外労働45時間・330時間を超えた事象が発生させた。その原因は本社による労働時間の確認漏れによる。今後は今回のような事象が発生しないよう、本社の事前点検をしっかりと実施する。その他については問題なかった。39時間30分についても遵守していく。

2. 2022年度冬季ダイヤ改正における検証事項と内容を明らかにすること。

(組合) 青森支店の「みずうみ号」について、空港線の発車時分の調整や、八戸駅からの乗車人数の把握について考えを明らかにすること。

(会社) 青森・酸ヶ湯線(11/8(月)~4/21(金))、十和田湖冬物語に合わせた八戸・十和田湖線「冬の奥入瀬号」(1/27(金)~2/20(月))、山形・新宿/TDLを米沢経由に経路変更、いずれもダイヤには問題なかった。年末年始ダイヤについても問題なかった。空港線は飛行機のダイヤを見ながら考える。この冬は八戸駅発を予約制にしたが、立席を防ぐとともに無駄な配車を防ぐためにも、秋に向けて検討していく。

3. 運行管理、点呼体制、安全設備等は問題の無いようにすること。

(組合) 1月の米沢での事故の問題点や今後の対応について、責任追及ではなく原因究明と考えている。

(会社) 運転担当課長会議、整備担当課長会議等を通じて運行管理体制及び点呼執行体制の充実並びに強化に努めている。環境の面と人の面から原因究明のスタンスで再発防止に努める。

4. 各現場の要員不足が深刻な状況となっていることから、その対策を明らかにすること。

(組合) 社員の努力と協力で何とかしている状況だが、各職場は限界である。人材の確保とあわせ人材の定着のため対処しなければならない。

(会社) 社員紹介制度や65歳以上の短日労働制度の導入、またテレビCM等、新たな求人募集手段を導入するとともに、働き方改革推進・労働条件向上により、魅力ある会社づくりを進める。2022年度新規採用者数は25名。